

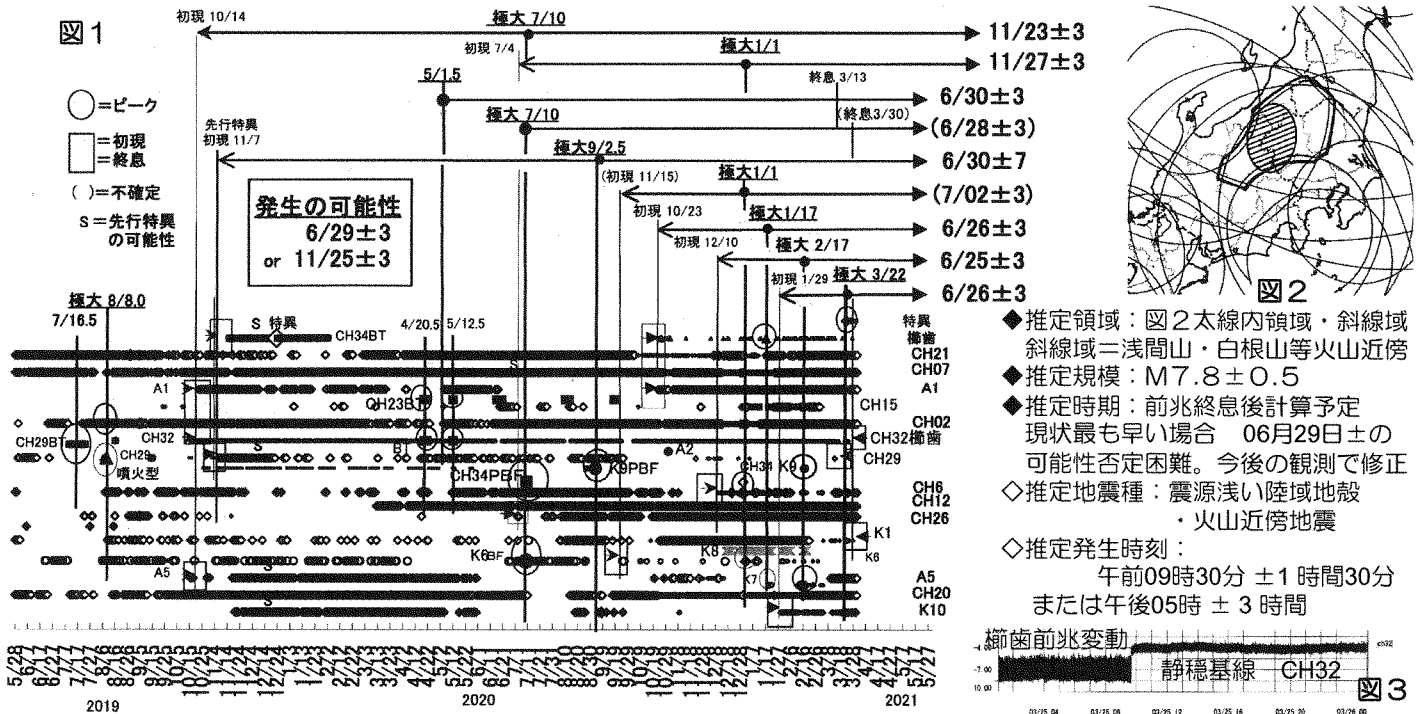
PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.296

2021.03/31 (水曜) 17:00 発表

ハケ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

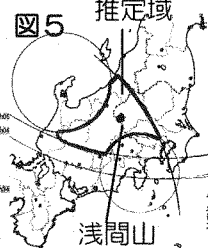
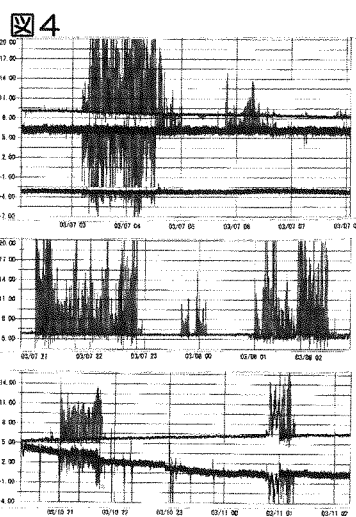
No.1778 続報 最も早い場合 6月末発生の可能性否定困難



- ◆推定領域：図2太線内領域・斜線域
斜線域＝浅間山・白根山等火山近傍
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：前兆終息後計算予定
現状最も早い場合 06月29日±の
可能性否定困難。今後の観測で修正
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻
・火山近傍地震
- ◇推定発生時刻：
午前09時30分 ±1 時間30分
または午後05時 ±3 時間

前号までの続報では、長期前兆No.1778の早い場合の発生時期として、09月26日±3・11月11日±3・11月25日±3の3種の可能性が考えられることを報告致しました。しかし、本年03月中に5観測装置の前兆変動が終息し、全前兆変動の初現・極大・終息の関係を見直した結果、上図1に記したとおり、09月の可能性は消え、06月29日±3の可能性が考え易いことになりました。11月25日±3の可能性はまだ完全に消去できません。但し、図3波形の様に長期継続したハケ岳南麓のCH32櫛歯変動の終息や、高知観測点のK1特異終息などもあり、06月末時期発生の可能性が示唆されます。06月末発生の可能性としますと、2019年10月・11月から継続し、一定期間出現して消えた複数観測装置のBT（基線幅増大）や特異を先行特異と考えますと、非常に理解しやすくなります。仮に06月末発生となる場合には、右枠内に記したような各時期に前兆変動終息変化が見られる可能性が計算できます。右枠内各時期に前兆変動終息変化が認められない場合には11月の可能性等、異なる発生時期の検討が必要となります。続報させていただきます。

前兆変動終息推定時期	
09/2.5極大に対し→	4/13±
01/01 極大に対し→	5/14±
01/17 極大に対し→	5/18±
02/17 極大に対し→	5/26±
03/22 極大に対し→	6/04±



参考：浅間山火山性群発地震 3/21±4 発生推定 成功

03月07日極大で図4波形のとおり、ハケ岳南麓だけの複数観測装置に櫛歯変動が観測されました。櫛歯変動は浅い地殻地震、特に火山性地震・群発地震の前兆変動です。影響局から図5の太線領域内の火山が推定され、ハケ岳南麓だけの前兆変動出現からハケ岳に近い火山の可能性が示唆され、過去例から3/21±4に火山性群発地震活動が始まる可能性を3/11配信のNo.3228観測情報で報告致しました。推定どおり、推定領域内火山である浅間山で火山性群発地震発生。今年初めての火山性地震推定でした。誤差なしで成功でした。

推定領域：図5太線内火山
推定活動：火山性群発地震
推定時期：3月21日±4
実際活動：浅間山火山性群発地震
3月20日より活発化
3/21=68回 3/22=77回 3/23=114回
気象庁発表資料より